

## ◎福井県福井市

【人 口】 269,426 人 【面 積】 536.17k m<sup>2</sup> 【一般会計】 993.68 億円

### ◆調査事項「福井市地域交流プラザ『アオッサ』について」

本市における生涯学習に関する施策の参考とするため、市街地中心部において県や民間の施設とともに公民館、図書館等を集約し、さまざまな人々が集う市中心部の生涯学習拠点となっている福井市の地域交流プラザ「アオッサ」について視察を行った。

#### ・施設設置までの経緯

福井市は、JR北陸本線が市街地を南北に貫き、その西側にある福井城、福井県庁、福井市役所を中心に市街地が形成されているが、東側の市街地整備は西側に比べて相対的に遅れ、「アオッサ」のある手寄地区（JR福井駅東口前付近）は俗に「駅裏」と呼ばれる地区であった。

その後、北陸新幹線の整備等に伴う福井駅の大改装などから、平成10年から東口駅前再開発として手寄地区第一種市街地再開発事業が行われ、事業の一つとして平成19年4月に「アオッサ」がオープン。

「アオッサ」の敷地、建物は、民間事業者、福井県、福井市がそれぞれ約3分の1ずつ権利を所有し、福井市では、市第5次総合計画に掲げる重点課題である「健やかな子どもの育成」、「豊かな長寿社会の実現」、「男女共同参画社会の実現」、「中心市街地の再構築」への対応として、「賑わいの創出」と「市民の生涯学習と交流の促進」を目的とした機能を導入するため、市公益施設を入居。また、県の施設等と連携することによって、幅広い世代と多様なニーズへの対応を目指す。

#### ・施設の概要

- (1) 「アオッサ」：福井弁で「会おうよ」の意で、人々が待ち合わせ、集う場所になってほしいという願いが込められている。
- (2) 施設規模：敷地面積：4,499.96 m<sup>2</sup>、延床面積：33,170.08 m<sup>2</sup>、地上10階地下2階建
- (3) 施設機能：地下・・・有料駐車場  
1～3階・・・民間商業施設、駐輪場等  
4～6階・・・市公益施設  
7～10階・・・県公益施設（県消費生活センター、ふくい県民活動センター、県人権センター、ボランティア・カフェ、放送大学福井学習センター、県民ホール）

#### ・福井市の公益施設

##### (1) 桜木図書館

平成19年に開館した福井市内で最も新しい図書館で、アオッサ4階の全フロアを占める。24万冊まで図書が収蔵可能で、開館時間は、駅前という立地条件等も考慮し、平日は午前10時から午後9時まで、休日は午前10時から午後6時までとなっている。

なお、桜木図書館の開館によって、福井市内の他の4図書館の利用者数に変化はないとのことであるが、桜木図書館から最も近い福井県立図書館では、利用者が若干減少したとのことである。

##### (2) 中央公民館（5階）

福井市では、中央公民館の開館以前は各地域の地区公民館のみであったが、中央公民館の開館によって市中心部における生涯学習の拠点施設が整備された。

中央公民館の研修室、調理室等の各部屋は、平均稼働率が70%前後で推移し、稼働率が80%を超える日もあるほど多く利用されている。

##### (3) 男女共同参画・子ども家庭センター、NPO支援センター

## ・福井県等の入居施設との連携

現在のところ、県や民間施設等との連携について目立つものはないとのことであったが、福井県民ホールや県民活動センター、放送大学福井学習センター、民間商業施設等において講演会等のイベント開催されるときは、市が所有する会議室等が講師の控室などとして利用されることが多いとのことであった。

また、中央公民館やNPO支援センター、男女共同参画・子ども家庭センター等が同じ建物に入居していることから、同じような内容の講座が重複しないよう、それぞれが役割を分担しているとのことであった。

## ・委員の感想

- 県の施設に県、市、民間事業者が同居し、お互いの相乗効果により市民の多様なニーズを幅広い世代の方に対応できる施設にして、中心市街地の活性化につなげておられる。
- 生涯学習機能が集約されており、お互いの連携によりすばらしい生涯教育が推進できると思う。
- 目的である駅前活性化には効果的だと思う。
- この種の複合施設は、福井市の教育、文化度の高さを示すもので、県、市、民間事業者の三者の連携によって市街地再開発事業ができたことに意義があり、市民に対する行政の強い意志が感じられる。
- 福井弁で「会いましょう」という意味のアオッサは、待ち合わせの場所として気軽に行ける空間で、視察日が夏休みということもあり、子ども連れや中学生、高校生も多く、建物は大変すばらしかった。
- 複合機能を持つ施設で民間事業者も入居されていることもあり、民間事業者が破綻すれば運営に直接ひびが入るのでないかと思い、舵取りに自信がないと将来の不安にもつながりかねないとの念は消えない。しかし、大都市である福井市として、文化施設等への公共投資に対してこれまでの施設運営が順調なすべり出しであることには一定の評価ができる。
- 市民にとっては大変便利で、使いやすく寄りやすいと思った。県、市にとっても一体的な生涯学習の政策が打ち出せると思った。